

広島県内陸部の河川におけるヒクイナ *Porzana fusca* の繁殖

上野吉雄¹⁾ *・石井秀雄²⁾・加藤淳司³⁾

¹⁾ 広島県立広島西特別支援学校・²⁾ 広島県立千代田高等学校・³⁾ 株) 荒谷建設コンサルタント

The Breeding of Ruddy-breasted Crake, *Porzana fusca*, in Central-Rivers, Hiroshima Prefecture

*Yoshio UENO, Hideo ISHII and Junji KATO

報告

ヒクイナ *Porzana fusca* は朝鮮半島, 中国, インド, インドシナ半島, ボルネオ, ジャワなどに分布し, 北方のものは冬季に南へ渡る(尾崎 2000). 4 亜種に分けられ, 亜種ヒクイナ *Porzana fusca erythrothorax* は北海道, 本州, 四国, 九州で繁殖し, 水田や水域に近い草地などに生息する(日本鳥学会 2012). 近年, その生息環境が悪化し, 個体数が減少しているため環境省により準絶滅危惧に選定されている(環境省 2012). 広島県内では, 1980 年代から 1990 年代には広島市や旧高田郡吉田町などで繁殖確認がされているが(日本野鳥の会広島県支部 2002), 近年は繁殖の確認も途絶えていたので絶滅危惧 II 類に選定されている(渡辺 2012). また, 近隣の山口県では, 岩国市尾津干拓地や阿知須干拓地などの限られた地域で繁殖しているのみであり, 準絶滅危惧に選定されている(山口県 2004). 島根県では, 宍道湖西岸や潟の内, 益田川河口などで少数のものが繁殖しており絶滅危惧 II 類に選定されている(島根県 2014). 岡山県では, 絶滅危惧 II 類に選定されている(丸山・山田 2009).

筆者らは 2013 年に広島県内陸部の河川においてヒクイナの生息状況について調査し, 繁殖を確認したので報告する.

ヒクイナの生息を確認した場所は標高約 300m の河川岸に発達したヨシ群落で, ヨシ *Phragmites communis* が優占している. 鳥類ではカルガモ *Anas zonorhyncha*, カイツブリ *Tachybaptus ruficollis poggei*, バン *Gallinula chloropus chloropus* などが繁殖している. 本報告では, 詳細な場所については本種の保護のため記載しない.

ヒクイナの観察は 8 倍の双眼鏡と 20 倍の望遠鏡を用いて行った. また, ヒクイナの鳴き声をカセットデッキから流し, コールバックを行い鳴き返して確認した.

2013 年 6 月 14 日の 6:35 に生息地 1 でヒクイナの声を確認した. 6 月 16 日の 5:45 に生息地 2 で声を確認した. また, 生息地 3 で 1 羽を確認した. 6 月 17 日に生息地 3 で川の中のカササゲ *Carex dispalata* 群落の中に造りかけのヒクイナの巣を確認した. 巣はカササゲの地上約 30cm の位置に造られていた.

6 月 28 日の 16:25 に生息地 3 でヒクイナの声を確認し, 16:50 に成鳥 1 羽の水浴を確認した. 17:00 に巣立ち後まもない雛 4 羽と親鳥 2 羽を確認した. 親子は連立って 18:30 まで川の中で採餌していた. 7 月 1 日に雛 6 羽と親鳥 1 羽を確認した(図版 1-A, B). 8 月 23 日にカササゲ群落の中に造りかけのヒクイナの巣を確認した(図版 2-A, B).

これまでヒクイナは広島県内では, 1977 年に広島市安佐北区で, 1980 年に広島市東区で, 1980 年に旧高田郡吉田町で, 1994 年に東広島市黒瀬町などで繁殖が確認されている(日本野鳥の会広島県支部 2002). しかし, 近年は繁殖の確認も途絶えていた. かつては水田や牧場, 湿原などで広く繁殖していたが(上野ほか 1996), 土地造成や乾田化などの土地利用の変化で生息地が縮小し, 生息地や個体数が減少しており, 広島県により絶滅危惧 II 類に選定された(渡辺 2012).

今回の調査で河川岸に発達したヨシ群落が, かつては水田や湿原で繁殖していたヒクイナの重要な生息地となっ

ていることが明らかになった。本地域におけるヒクイナの繁殖個体群はきわめて小さく消滅する可能性があるので、今後も注意深くモニタリングしていく必要がある。

繁殖地の植物を同定していただいた広島市立東野小学校の齋藤隆登氏にこの場を借りて感謝の意を表す。

引用文献

環境省（2012）第4次レッドリストの公表について <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15619>

丸山健司・山田信光（2009）ヒクイナ．岡山県版レッドデータブック 2009—絶滅のおそれのある野生生物—：

68．岡山県環境文化部自然環境課

島根県（2014）ヒクイナ．改訂・しまねレッドデータブック 2014 動物編～島根県の保護上重要な野生動植物～：

49．島根県環境生活部景観自然課

日本鳥学会（2012）日本鳥類目録 改訂第7版

日本野鳥の会広島県支部（2002）ひろしま野鳥図鑑 増補改訂版．中国新聞社

尾崎清明（2000）ヒクイナ．日本動物大百科 鳥類I：140．平凡社

上野吉雄・保井浩・山本裕（1996）広島県芸北町の鳥類．高原の自然史1：291-393

渡辺健三（2012）ヒクイナ．広島県の絶滅のおそれのある野生生物（第3版）—レッドデータブックひろしま2011—：

70．広島県

山口県（2004）やまぐちの野鳥．山口県環境生活部自然保護課



A : ヒクイナの親鳥と 6 羽の雛
B : ヒクイナの親鳥と雛

2013 年 7 月 1 日
2013 年 7 月 1 日



A: ヒクイナが営巣していたカササゲ群落
B: ヒクイナの造りかけの巣

2013年8月23日
2013年8月23日